

新刊出ました!

人はなぜ痛み、 苦しむのか ——聖書からの問い——

聖書講座シリーズ

16

「人はなぜ痛み、苦しむのか」。それは人類がその誕生以来、常に抱え続けてきた普遍的な問いである。

本書は、コロナ禍の2022年、京都司教区聖書委員会主催のオンライン聖書講座で、聖書の中にその答えを見いだそうと試みた、5人の講師による講義の記録である。

コロナ禍が去ったと思われる今この時、現代人に強く求められることは、「祈り」、「心の平和」、「観想」、「新しい価値観」について、聖書のことばに謙虚に耳を傾け、より積極的な生き方を模索することなのではないだろうか。

目次

すすめのことば：大塚喜直(京都司教区司教)

罪を犯した人祖：北村善朗(京都司教区司祭)

民の痛みを見た神：中川博道(カルメル修道会司祭)

彼は試みに遭い：西 経一(神言修道会司祭)

病む人に寄り添うイエス：柳田敏洋(イエズス会司祭)

イエスはすべての弱さを背負い：阿部仲麻呂(サレジオ会司祭)

定価：1,540円(本体1,400円+税)

発行：サンパウロ



割引価格にてお分けいたします



お申し込み・お問い合わせ

カトリック京都司教区 聖書委員会

TEL/075-223-3339

(月~木 10~16 金 10~12)

e-mail/seisho@kyoto.catholic.jp

カトリック京都司教区聖書委員会